

ありのままのあなたを応援する

八尾市議会議員

西川あり 市政報告

vol. 11
2023年
新春



2023年となりました。今年はどんな年になるのか楽しみと不安が入り混じります。皆さんはどのように感じておられますか？

去年は考えもしなかった戦争が始まりました。国内では、防衛費の増額が国会論議もなくまかり通っています。民主主義はどこに

いってしまうのか、平和とは何か突きつけられています。その上に、地球温暖化危機も現実味を帯びてきています。2030年に地球の気温上昇を1.5度までに抑える手立てを様々な分野で実行していかなければ地球の灼熱化は収まらないと言われています。多くの課題はありますが、目の前のできることからともに始める仲間を増やし続けたいと思っています。今年もよろしく願いいたします。



12月定例会 個人質問をしました！

詳細は、八尾市議会 HP の個人質問動画配信にて



人権施策全般について・市民の意見をホームページ等で回答し見える化を・地球温暖化対策について質疑しました。

今回は、人権施策を本市はどのように考えているかについてなぜそのような質問をしたのか記したいと思います。

それは部落問題という日本固有の差別問題が歴史的にある中、本市ではいち早く取り組み、その経緯から様々な人権課題にも目を向け、人権意識の向上に努めてきていますが、ここ数年、人権や権利という言葉が個人のわがままや、義務を果たしてから言うべきだなど取り違えて聞こえてくるものが多くあり、それはどんなことが影響しているのかずっと気がかりだったからです。また最近、若い方と話をした時、差別は必要なこともあると言われ、私たちが普段使っている言葉の意味や定義は共通理解されていないこともあるんだなと知ったことです。不当な差別と言わないと「差別はあかん」とはならない事に愕然としました。



ふみにじられた人が声をあげること、差別的言動を指摘することは、「人権を振りかざす」ことになるのだろうか？

人にやさしく 画: aipon
地球にやさしく その①



実は立場的に力を持つ側が、その力（特権）に敏感で自覚的でないで、無意識の差別をしてしまうことがあり、そこを突きつけられた時、振りかざされたと感じてしまうのではないのでしょうか？私も勉強不足です。差別の不当性や歴史など一緒に学んでいく仲間を増やしたいと思っています。

補正予算で可決されたこと

いくつかありますが、特筆したいのは最終日に提案された議案「出産・子育て応援交付金」です。

妊娠時に面談申請 5 万円、8ヶ月ごろの訪問面談、出産後申請 5 万円の計 10 万円の応援給付金です。出産時の 5 万円は 2022 年 4 月～12 月生まれにも遡りますので申請可能です。

2022 年の出生数は 80 万人をきりました。子どもを産み、育てたい家庭が子育てしやすい国に、まちにしていくことも同時進行していかなければと考えます。



西川ありの市政報告のご感想やご意見をお寄せください。また、皆様の暮らしの困りごとなど、相談もお気軽にお寄せください。

発行：西川あり 八尾市本町 2-2-23 tel/fax072-923-0293 alitomo0509@gmail.com

